新型コロナウィルス抗体Ｓ検査を受けてみませんか?　パート２
ワクチン接種後のウィルス抗体価をみることができます

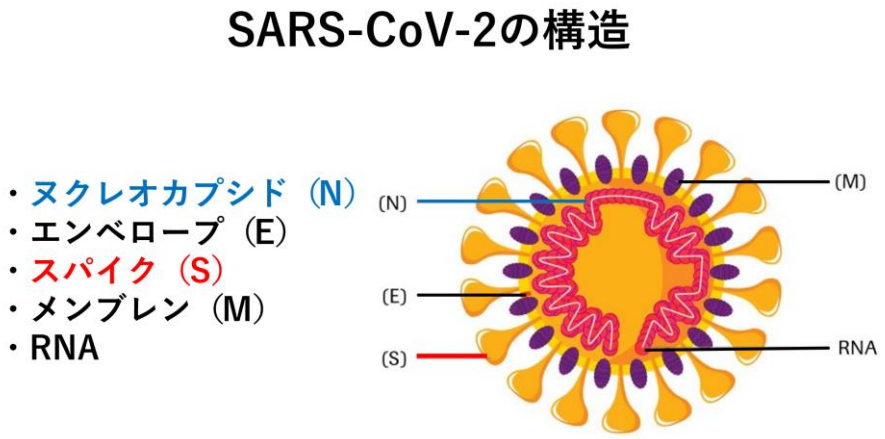
2021年6月より新たな抗体検査をオプションに取り入れます。

現在の新型コロナウィルス抗体検査はウィルスのヌクレオカプシド部分(N)を認識します（下記のウィルスの構造の模式図をご参照ください)。新型コロナウィルスワクチンはウィルスのスパイク部分(S)を抗体として体内でつくられるようにデザインされています。従って現在採用している抗体検査はワクチン接種後の抗体産生の有無の判定に使うことができませんでした。

これに対し新型コロナウィルス抗体S検査はウィルスのスパイク蛋白(S)に対する抗体を認識することができます。このことによりワクチンを接種した後にコロナウィルスに対する抗体が産生されているかどうか確認することが可能となっています。もちろんワクチンを接種する前に、新型コロナウィルスにかかったことがあるかどうかの判定に用いることもできます。

人間ドックで行っている採血（血液約1ml）によってこのウィルス抗体価の測定を行います。今までの試薬と違って抗体価は数値でも表示します。ただし通常の人間ドックで行っているA-E判定は行いません。

是非この機会にお申込みください。



https://diagnostics.roche.com/jp/ja/products/params/elecsys-anti-sars-cov-2.html
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社のホームページより引用・改変